

## I. 総 括

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に感染症法の5類に分類され、制限のない日常生活を取り戻しつつありますが、単発的な感染者があり、社会的な影響は残っています。

長引く経済活動の低迷が、休業・失業へ影響し、収入の減少から生活困窮者が急増しています。また、社会的孤立者や独居高齢者などの増加や人間関係の希薄化等、地域コミュニティーの衰退が顕著に表れる社会情勢となっています。そのため、地域が抱える問題は深刻化し、今まで以上に繊細で多様な対応が求められるようになってきました。このような状況の下、愛南町社会福祉協議会は、これまではぐくんできたネットワークを活かしながら、誰もが排除されることなく安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくりの実現を目指し、社協事業に取り組んでいます。

総合相談事業の取組みとして、生活困窮の方への相談支援の強化、食糧支援、就労支援や、コロナ影響から収入が減少された方などへの生活福祉資金の貸し付けなど、さまざまな相談に対応しました。また、令和3年度より受託している「重層的支援体制構築準備事業」では、愛南町役場本庁内に相談対応職員を派遣し、「暮らしの相談窓口」を開設して、相談の属性、世代、相談内容にかかわらず包括的に相談を受け止め、各支援機関が円滑な連携の下で支援できるように準備を整えました。それに加え、令和5年度は、食生活に困窮している方への食糧支援としての『フードパントリー』を愛南町中心部だけでなく、各公民館の協力を得て、できる限り多くの方へ配布できるよう取り組みました。

社会福祉協議会本来の目的である地域福祉活動として、地域の活性化を目的とした小地域での拠点づくりへの取組みや、福祉教育、見守り活動の推進、生活支援体制整備等、感染予防に配慮しながら、地域へ出向き、地域の課題や困りごとを把握し、住民の皆さんと共に考える活動に取り組んで参りました。

在宅福祉事業では、5類移行後もコロナの影響が残り、長期在宅介護をされていた方々の中でも、施設入所やショート利用等を活用するケースが増え、在宅介護のスタイルの移り変わりがみられました。そのため、どの事業も共通して短期利用されるケースの傾向がみられました。そのような短い在宅介護期間の中でも、ご利用者様やご家族の皆様へ、ご希望に沿った生活を送っていただくために、適切な相談支援と介護サービスを心掛け提供いたしました。

今後も愛南町社会福祉協議会は、地域住民の皆様を支えられ、信頼され、支持されるように「地域福祉事業」「在宅福祉事業」の更なる充実に向けて取り組んで参ります。

## II. 重点項目

### ①重層的支援体制構築準備事業の推進強化・拡充

役場庁舎内（保健福祉課内）に「くらしの相談窓口」を設置し、相談の属性、世代、相談内容にかかわらず包括的に相談を受け止め、各支援機関が円滑な連携のもとで支援できるように体制を構築していきます。

また、地域づくり事業では、放課後の子どもの居場所づくりの拡充、地域食堂・子ども食堂等に取り組み、課題を抱えた方や障がい者、児童等誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。

### ②小地域での住民のつながり、支え合い活動の推進

小地域を単位として、地域課題等の解決に向けて住民の皆さんと寄り添いながら共に考え、住民同士の支え合い活動を広げていきます。

### ③権利擁護の拡充

権利擁護相談機関として、福祉サービス利用援助事業や法人後見事業を推進し、認知症や精神障がい、知的障がい等の理由により判断能力が十分でない方に対して不利益が生じないように預貯金の管理や日常生活などについて、しっかりと関係機関と連携を強化し、相談機能の充実を図りながら支援を行います。

### ④生活困窮者等の地域で孤立しないための支援強化

生活に困窮している方の抱えている多様で複合的な問題に対して、必要な情報提供や相談を行いながら、その方に合った支援計画を作成し、自立に向けた支援を計画的に行います。

### ⑤災害対応に向けた取組みの推進

近年多発している自然災害を踏まえて、災害ボランティアセンターの設置・運営方法について詳細な検討を進めるとともに、円滑な災害対応を図るため、必要な資機材の整備等を計画的に進めてまいります。

### ⑥経営改善による自主財源の確保

愛南町・愛媛県・愛媛県社協からの受託事業をはじめ、社協会費入会・共同募金運動を推進し、自主財源の確保に努め、経営の安定を図ります。

### ⑦感染予防と経営の安定

介護現場において、感染予防と感染拡大防止対策をとり、継続した事業運営に努めます。

### Ⅲ. 事業別報告

#### 《 1 》 法人運営事業

##### < 1 > 法人運営事業

収入額	32,452,831円	主な財源	町補助金・会費・雑収入
支出額	36,658,401円		

①事業の概要…理事会・評議員会の本来の役割に併せて、地域の福祉分野の各層から地域住民を代表して社協活動の推進に参画いただいております。地域における福祉課題の発掘に関する情報やその解決に向けたご提言等をいただくとともに、運営、経営面の改善等にご助言をいただき、更なる組織の機能強化を行ないます。

②事業の目標…取り組んでいる社協の事業・運営状況について具体的に丁寧な説明をしていきます。

#### ◎理事会・監事会・評議員会

##### 1 理 事 会

① 第73回 (令和5年度第1回)	
日 時	令和5年6月7日 (水) 10:00~12:10
場 所	社協本所 3階 会議室
同 意	理事 8 名 (8名中) 監事 1 名 (2名中)
議 案	1 給与規程の一部変更について
	2 臨時職員給与規程の一部変更について
	3 登録・パート職員給与規程の一部変更について
	4 令和4年度事業報告について
	5 令和4年度決算報告について
	6 令和5年度資金収支補正予算<第1号>について
	7 理事選任候補者の選定について
	8 監事選任候補者の選定について
	9 評議員選任候補者の推薦及び解任について
	10 評議員選任・解任委員会の招集について
	11 評議員会の招集について

② 第74回 (令和5年度第2回)	
日 時	令和5年6月28日 (水) 11:25~11:45
場 所	社協本所 3階 会議室
出席者	理事 7 名 (7名中) 監事 2 名 (2名中)
報 告	1 第12回評議員選任・解任委員会について
議 案	1 会長・副会長の選任について
	2 その他

③ 第75回 (令和5年度第3回) 書面決議	
日 時	令和5年9月29日 (金)
場 所	
出席者	理事 8 名 (8名中) 監事 2 名 (2名中)
議 案	1 臨時職員給与規程の一部変更について

④ 第76回 (令和5年度第4回)	
日 時	令和6年3月5日 (火) 9:58~11:15
場 所	社協本所 3階 会議室
同 意	理事 6 名 (7名中) 監事 2 名 (2名中)
議 案	1 定款の一部変更について
	2 職員給与規程の一部変更について
	3 事務局規程の一部変更について
	4 経理規程の一部変更について
	5 令和5年度第2号補正予算 (案) について
	6 令和6年度事業計画 (案) について
	7 令和6年度資金収支予算 (案) について
	8 評議員会の招集について

## 2 監事会

① 決算監査	
日時	令和5年5月22日(月) 10:00～
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	監事 2名 (2名中)
議案	1 愛南町社会福祉協議会 監査 令和4年度事業報告/令和4年度一般会計収支決算(財務諸表・関係証憑等)

## 3 評議員会

① 第58回(令和5年度第1回)	
日時	令和5年6月28日(水) 9:30～11:02
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 11名 (15名中) 監事 2名
議案	1 令和4年度事業報告について
	2 令和4年度決算報告について
	3 令和5年度資金収支補正予算<第1号>について
	4 理事の選任について
	5 監事の選任について

③ 第59回(令和5年度第2回)	
日時	令和6年3月25日(月) 10:00～11:15
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 8名 (15名中)
議案	1 定款の一部変更について
	2 令和5年度資金収支補正予算(案)<第2号>について
	3 令和6年度事業計画(案)について
	4 令和6年度資金収支予算(案)について

## 4 評議員選任・解任委員会

① 第12回	
日時	令和5年6月15日(木) 13:30～13:40
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	委員 4名 (5名中)
議案	1 評議員の選任及び解任について

実績評価  
・問題点

理事会・評議員会・監事会において役員の皆様よりいただいた貴重なご意見ご提言を法人運営事業や地域福祉事業・在宅福祉事業に活かし、地域福祉の推進に貢献していきます。

◎社協会員制度（社協会費）普及状況

①事業の概要…社協は、地域において公共性の高い福祉活動を推進する非営利民間福祉団体として社会福祉法で 市区町村に1ヶ所のみ設立が認められた社会福祉法人です。地域住民に理解され、支持されることがひとつの条件であり、その証となるものが会員募集及び会費協力の取り組みです。住民全体に社協を認めていただき、社協活動を後押ししていただくべく社協会員としてご理解とご支援をお願いしていくことを趣旨として全戸会員制を推進します。

②事業の目標…会費についての使途、社協の必要性を賛同していただけるよう広報していきます。世帯会員以外の福祉関係団体会員・町外特別会員について、依頼方法を検討し、ご協力をお願いします。

令和5年度実績及び年度対比表

◎個人会費

	30	31	2	3	4	5	前年比
会費 (円)	3,145,500	3,082,800	3,044,000	2,981,500	2,925,500	2,862,000	97.8%
加入世帯数	6,291	6,165	6,012	5,963	5,851	5,724	97.8%
加入率	75.4	74.0	72.1	75.2	74.6	74.2	99.5%

※令和5年4月1日現在、組入り世帯数 7,711世帯

◎団体会費 65件 158,000円  
 (内訳) 住民団体 9件  
 法人 4件  
 企業 52件

	31	2	3	4	5	前年比
会費 (円)	2,000	16,000	113,000	72,000	158,000	219.4%
加入団体	1	8	50	35	65	185.7%

実績評価 ・問題点	<b>個人(世帯)会費が、ほとんど地区会計からの納入となっている現状で、今後も人口減少と地区の組み入り世帯の減少により、個人会費の増額は難しい状況にあります。引き続き、団体(法人)会費、企業への依頼をしていきます。</b>
--------------	---

職員の資質向上と職員間の連携の強化

①事業の概要…公共性の高い事業を展開する社協であり、従事する職員も常に資質の向上に心がけ、全体・分野ごとに研修会等を計画し、または県社協による各種研修会に積極的に参加し、地域福祉活動の推進役になれるよう職員の資質向上に努めます。

②事業の目標…職員の定着に向けて働きやすい職場環境改善の取り組みと、「パートタイム・有期雇用労働法」への対応を検討していきます。

実績評価 ・問題点	<b>コロナ禍であったため、リモート研修に参加し、地域福祉・相談事業の充実に向けて取り組みました。</b>
--------------	---

◎社会福祉士実習指導

収入額	257,000円	主な財源	実習受け入れ謝金（再掲）
支出額	0円		

①事業の概要…社会福祉士資格取得のため「社会福祉士及び介護福祉士法」における相談援助実習が180時間以上必要であるため、社会福祉士実習指導者資格を有する社会福祉士が学生の実習指導にあたります。

学校名	人数	期間	謝金
新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科	4回生 3名	令和5年6月14日～6月30日 令和5年7月11日～8月1日	144,000円
高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	3回生 1名	令和5年8月7日～9月8日	36,000円
美作大学 生活科学科 社会福祉学科	4回生 1名	令和5年8月7日～9月8日	54,000円
聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科	3回生 1名	令和5年8月7日～9月8日	23,000円

実績評価 ・問題点	<p>社会福祉士実習生の受け入れを行い、実習指導を行いました。          令和5年度は、新見公立大学の学生3名、美作大学、聖カタリナ大学、高知県立大学の愛南町出身者の学生3名の受け入れを行いました。          学生と一緒に地域での個別訪問の実施や、地域アセスメントを行い、社会福祉士に必要な技術の向上に務めました。          実習時間が、180時間以上必要であるため、丁寧な指導が必要ですが、一人でも多くの社会福祉士の育成と、愛南町での就職を希望してくれる学生の育成に務めていきます。</p>
--------------	--

※社会福祉士とは、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術を持って、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保険医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」（社会福祉士法及び介護福祉士法第2条第1項）をいう。社会福祉士の資格を取得するためには、受験資格取得後、厚生労働大臣が行う「社会福祉士国家試験」に合格しなければならない

< 2 > 社協運営安定積立事業

収入額	670円	主な財源	繰入金・利息
支出額	0円		

①事業の概要…必要な財源の安定的確保を図るために積立金を設置します。

②事業の目標…収益事業・事業助成金等の検討を進め、安定積立金・退職積立金を確保します。

運営安定積立金 20,000,000円（3月末残高）

実績評価 ・問題点	<p>新型コロナウイルス感染症や自然災害等緊急時の事業継続に備えて、今後の積立計画の検討をしていきます。</p>
--------------	--

## 《 2 》 地域福祉事業

### < 1 > 調査・企画・広報事業

収入額	842,000円	主な財源	補助金、共同募金
支出額	742,200円		

①事業の概要…社協だよりの刊行、ホームページでの住民への周知。

②事業の目標…社協だよりについては、引き続き、検討会議で定期的に内容の検討を行い、住民の方に分かりやすく役に立つ紙面を作成していきます。ホームページに関しては、業者、検討班も含めて、内容等の検討を行い、見やすく分かりやすいホームページを目指します。

号	発行日	主な掲載内容	
63号	R5.5.1	三世代交流会	おかえり子どもクラブ・担い手研修
		事業計画・予算・人事異動	ボランティア助成・小地域活性化事業助成
64号	R5.7.1	愛南いきいき・ふれあいサロン・生活支援体制整備事業	介護技術・無料法律相談
		トライアスロン	地域食堂
		社協会費のお願い・担い手研修会	令和4年度決算報告
65号	R5.10.1	夏休み交流会の募集	フードパントリー・無料法律相談・職員紹介
		赤い羽根共同募金運動	会長挨拶・理事、監事、評議員
		社協会費のお礼・フードパントリー	夏休みふれあい交流会・夕涼み会
66号	R6.2.1	実習発表	法律相談・障がい者福祉講座
		三世代交流会	新年挨拶・福祉巡回車寄贈
		赤い羽根共同募金実績報告・団体会費お礼	担い手研修・独居訪問
		災害時、備えておきたい介護用品	社会福祉大会表彰・無料法律相談日程

#### 実績評価 ・問題点

社協だよりに関する検討委員会を設けて記事の内容・作成等に関して、その都度検討を行ない、記事の充実に努めることが出来ました。  
今後も住民の方が分かりやすい内容または情報の提供が出来るよう、ページのレイアウト等を工夫し事業活動報告などを行なっています。

### < 2 > 福祉用具貸与事業

収入額	45,000円	主な財源	補助金、共同募金
支出額	18,414円		

①事業の概要…介護保険事業に該当しない独自の事業として、車いすの貸出を無償で行います。なお、介護保険事業を妨げないためにも、現有器資材のみで対応し補充等は行わないこととしています。

②事業の目標…貸出の状況管理を行い、今までのどおりの方法でいいか、今後要綱の変更など検討していきます。

福祉用具名	件数
車イス	23台

#### 実績評価 ・問題点

ギャジベッドは旧式で安全性が低いいため返却があり次第処分していきます。  
車椅子の返却はありますが、まだ返却されていない車椅子も多くあります。タイヤ交換が必要なもの、汚れがひどいものがあるため、返却後、点検と消毒をしながら貸し出しを行っています。

### < 3 > マイクロバス管理運営事業

収入額	632,274円	主な財源	町補助金
支出額	632,274円		

①事業の概要…社協活動の推進ならびに社会福祉団体・関係機関及び各種団体が、住民の福祉向上・ボランティア活動等に資することを目的として、サロン・老人クラブ・社協に係る団体等に人数制限、消毒等感染防止をしながらマイクロバスを貸出ししています。

②事業の目標…昨年度同様にサロン・老人クラブ等が見込まれるため、感染防止をし安全で快適な運行、運転手の確保に努めます。

年度	貸出数	貸出内訳数			
		町内	町外 (松山市除く)	松山市	県外 (宿毛・四万十市含む)
3	9	1	5	1	2
4	37	11	10	7	9
5	49	12	16	7	14

#### 実績評価 ・問題点

昨年度より貸出回数は増えています。令和2年3月に町から中古マイクロバスを譲渡して頂きましたが、年式も古く、走行距離も伸びており、安全な運行のため費用がかかる状況にあります。

### 《 3 》 地域福祉活性化事業

#### < 1 > 愛南ふれあいサロン事業

収入額	768,500円	主な財源	共同募金、会費、寄附金
支出額	654,128円		

①事業の概要・・・地域住民がお世話役となって、閉じこもりがちな高齢者が気軽に集い、仲間づくりや心身の健康保持、生きがいに取り組む活動として町内各地に広まってきており、令和3年度も継続して立上げを支援し、地域コミュニティの強化及び小地域の助け合い・支え合いを推進します。

②事業の目標…サロン代表者の高齢化による後継者問題や、会員数の減少などによりサロンの継続が難しくなっています。そこで、代表者会を年に2回、サロン交流会、地域サロン交流会を開催し、他のサロンの現状把握や、課題について情報共有し、今後のサロンの継続やサロンの在り方について一緒に考え支援を行っていきます。また、各サロンへ出向き、地域におけるサロンの役割や効果についても把握し、各サロンへ情報の発信を行います。

#### 令和5年度サロン開設状況

No.	名称	地区	登録人数	実施回数	助成金額
1	楽しい集い	内海（魚神山）	14名	9	18,000円
2	平瀨ふれあいサロン	内海（平瀨）	17名	10	20,000円
3	お～い元気か～い	御荘（馬場）	18名	12	20,000円
4	長崎サロン	御荘（長崎）	15名	11	20,000円
5	僧都・山出ふれあいサロン	城辺（僧都）	13名	1	2,000円
6	太陽サロン	城辺（久良）	14名	10	20,000円
7	十人会	城辺（岩水）	12名	15	20,000円
8	ここにこサークル	城辺（深浦）	26名	10	20,000円
9	カトレアサロン	城辺（中原）	11名	10	20,000円
10	なごみ会	城辺（岩水）	13名	15	20,000円
11	鳥越サロン	城辺（鳥越）	24名	10	20,000円
12	サロン南天	城辺（中町）	18名	12	20,000円
13	サロン・さくら	一本松（中川）	10名	11	20,000円
14	サロン・みなみ	一本松（増田）	11名	10	20,000円
15	サロン・うみ	一本松（満倉）	13名	10	20,000円
16	中泊ふれあいサロン	西海（中泊）	17名	10	20,000円
17	船越ふれあいサロン	西海（船越）	28名	10	20,000円
18	福浦ごきげんクラブ	西海（福浦）	23名	10	20,000円
19	しぐらサロン	西海（麦ヶ浦）	9名	5	10,000円
20	手まりの会	西海（内泊）	19名	9	18,000円
21	笑、笑	西海（下久家）	25名	6	12,000円

#### 令和5年度愛南ふれあいサロン全体事業

事業名	開催日	参加者	内容
第1回サロン代表者会	R5.5.19	23名	①役員の選任について ②サロンだより「愛南NOKOTO」を振り返って ③愛南・サロンカフェ開催
第2回サロン代表者会	R6.3.7	31名	①助成金について ②ランチ会
サロン交流会	R6.1.14	27名	モルック・スカットボール・お茶会
一本松地域サロン交流会	R5.7.6	24名	テイクアウト販売・フォークダンス・棒体操
西海地域サロン交流会	R6.2.5	18名	音楽体操・お好み焼き作り

実績評価 ・問題点	令和5年度 愛南町ふれあいサロン数 21サロン(新規立ち上げサロン 1・休会サロン 1) サロン訪問 40回
	コロナの影響を受け、サロン活動が衰退し、サロン数は減少しているものの、地域の拠点として、高齢者の「居場所」「生きがい」の場としてサロンは地域での認知度が増しています。 令和5年度は、サロン代表者会や地域交流会等を実施し、サロン代表者だけでなく、会員同士の交流にも取り組み、サロン活動への支援、周知を行いました。



## < 2 > 愛南町地域福祉活動計画

愛南町社会福祉協議会では、令和4年3月に第2期愛南町地域福祉活動計画を策定し「誰もがその地域で安心して暮らせる地域社会の構築」を基本理念とし「ふだんのくらしのしあわせ」が当たり前のこととなるよう、愛南町に「ふつうのくらしのしあわせ」の仕組みを作っていくことを目指し、地域福祉を推進していきます。

### 【取組内容】

日時	場所	対象地域	人数
令和5年9月2日(土)	城の辺学習館	御荘・城辺	45名
令和5年9月2日(土)	山村開発センター	一本松	35名
令和5年9月3日(日)	DEあい21	内海	25名
令和5年9月4日(月)	西海町民会館	西海	25名

実績評価 ・問題点	<p>第2期地域福祉活動計画を策定し、ふだんのくらしを支えるしくみづくりに取り組みました。旧町村別に福祉のまちづくり座談会を開催し、計画の評価及び「中学生が考える愛南町地域福祉活動計画」の発表を行いました。</p> <p>座談会に中学生が加わることで、若い世代の考える愛南町の魅力や課題について、住民と一緒に考え取り組むことができました。</p> <p>また、生活支援体制整備、重層の支援体制整備事業、小地域活性化事業では、小地域での懇話会を開催し、小地域での支え合い、誰もがその地域で安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。</p>
--------------	---

## < 3 > 福祉教育推進事業

収入額	171,200円	主な財源	共同募金
支出額	137,230円		

### 福祉教育実施回数推移

年 度	保育所	小学校	中学校	高校	高齢者・ 教員・町職員	合計	備考
令和3年度	0	11	5	0	0	16	
令和4年度	0	22	5	0	0	27	
令和5年度	0	23	6	0	0	29	

実績評価 ・問題点	<p>地域と学校の交流会の実施や、独居訪問など体験学習を実施することができました。昨年度よりも依頼が増え、福祉教育の推進につなげることができました。プログラム内容の充実化をはかっていきます。</p>
--------------	---

## < 4 > 小地域活性化事業

収入額	1,216,050円	主な財源	事業収入、助成金
支出額	1,036,337円		

### ご縁茶屋の実績

月	回数	内容	売り上げ
4月	0		0円
5月	0		0円
6月	1	お好み焼き販売	53,050円
7月	1	お好み焼き販売	45,150円
8月	0		0円
9月	1	ガパオライス販売	41,600円
10月	2	お好み焼き販売	49,750円
11月	1	焼き芋販売	1,600円
12月	3	焼き芋販売(3)	16,800円
1月	3	焼き芋販売(2)・お好み焼き販売	65,850円
2月	3	焼き芋販売(3)	16,600円
3月	0		0円
合計			290,400円

### その他、ご縁茶屋使用実績

内容	回数
就労準備支援事業・資金相談	19回(38人)
お接待	6回

その他の拠点

拠点名	代表者	スタッフ	内容	総利用者数
やまびこキッチン	山本 信江	6名	4・5・6月 やまびこキッチン開催 10・11・12・1・2・3月 月2回カフェ開催	652人
おいでな～し菊川	山平 輝代	5名	4・3月テイクアウト弁当販売	198人

【研修会】

5月20日（土）小地域活性化事業研修会開催 参加 76名

3月6日（木）小地域活性化事業 視察研修「みんなの村 はま・くる」 開催 参加 10名

実績評価 ・問題点	<p>小地域活動団体「柏遊会」「さかえ」「深浦なかよし会」等の活動者同士のつながりづくりとして、視察研修や研修会を開催しました。 また、イベント販売やフードパントリー弁当販売を行い、サロン活動の支援、担い手とつながり続ける活動ができました。</p>
--------------	--

《 4 》 ボランティア活動振興事業

＜ 1 ＞ ほっとサポート愛南事業

収入額	0円	主な財源	会費、共同募金
支出額	51,392円		

活動状況

延べ新規相談回数	7 回
延べ利用回数	17 回
活動内容（主なもの）	通院付き添い、掃除

実績評価 ・問題点	<p>協力会員数 25名 利用会員数 160名 地域内でのちょっとした困りごとの支え合いの相互援助活動を行いました。協力員の力を発揮できるように取り組んでまいります。</p>
--------------	---

＜ 2 ＞ ボランティア市民活動支援センター事業

収入額	809,000円	主な財源	共同募金
支出額	588,727円		

[ 1 ] 町内ボランティア活動団体支援事業

	加入団体名	主な活動内容	会員数
1	子育て支援グループ 「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」	こぶたのお家運営 子育て支援 子育てネットワークの充実	12
2	おいでな～し菊川	ボランティア活動	5
3	てんとうむしの会	視覚障がい者支援・点約	12
4	チームばせ	地域活性、交流	16
5	傾聴ボランティア「お話相手おひさま」	傾聴ボランティア活動、研修、広報活動	12
6	一本松おもちゃ図書館あゆみくらぶ	おもちゃ遊びで健常者・障がい児（者）との交流、おもちゃ作成	9
7	正木やまびこ会	食事の提供と地域交流	6
8	松ぼっくり	障がい者生活支援	26
9	愛南町ひとり親サポートwithぴ～す	生活支援品と夕食の提供	15
10	愛南おれんじの会	就労や地域生活の充実 子育て悩みの軽減	22

[2]各種講座の開催

開催日	内 容	参加者	対象
7月25日(火)	SDG'sシーボンアート交流会	11人	町内小学生4～6年生(7) 高校生ボランティア(4)
7月26日(水)	愛南ごはん教室	6人	町内小学生5・6年生(5) 高校生ボランティア(1)
8月2日(水)	みんなで宿題をしよう! ～絵を描こう～	6人	町内小学生5・6年生(6)
8月3日(木)	ペーパーキリングづくり	7人	町内小学生5・6年生(7)

冬休みふれあい講座

開催日	内 容	参加者	対象
12月23日(土)	囲炉裏～irori～体験	11人	町内小学生5・6年生(3) 中学生ボランティア(8)
1月7日(日)	喫茶ニア	21人	町内小学生4～6年生(9) 中学生ボランティア(12)

高校生ボランティア養成

開催日	内 容	参加者	対象
12月6日(水)	ボランティア養成講座	16名	1・2・3年生11名

中学生ボランティア養成

開催日	内 容	参加者	対象
5月21日(日)	ボランティア養成講座	12名	愛南町内3年生
7月9日(日)	中学生ボランティア研修会	14名	愛南町内3年生
8月20日(日)	中学生ボランティア研修会	14名	愛南町内3年生
9月2・3日(土・日)	地域座談会参加	11名	愛南町内3年生
11月1日(水)	クレープ試作会	14名	愛南町内3年生
11月8日(水)	クレープ練習会	11名	御荘中3年生
11月9日(木)	クレープ練習会	3名	城中3年生
11月25日(木)	パークイルミネーション	14名	愛南町内3年生

実績評価 ・問題点	この活動を通して、愛南町について考え、地域の人達のカも借りて自分達の夢を叶えることができました。ボランティア活動を通してたくさんの経験をし、学ぶことができました。継続して、取り組めるようにしていきます。
--------------	---

< 3 >生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）（町受託事業）

収入額	3,696,190円	主な財源	町受託金
支出額	3,682,400円		

①事業の概要・・・住民同士の支え合いを推進し、高齢者が地域で安心して暮らせることを目的に「生活支援コーディネーター」の配置と、地域で暮らすさまざまな立場の人たちが一緒になって支え合いの地域づくりに向けて協議する「協議体」を設置し、介護予防や生活支援の基盤づくりを行います。

②事業の目標…第1層生活支援コーディネーターとして、自分たちの地域で生活支援や介護予防を話し合う「懇話会」の開催をはじめ、地域の人、地域のもの、場所をつなげ、活動を支援する。また、第2層協議体の設置、第2層生活支援コーディネーターと連携し、地域の支え合いの仕組み作りを促進します。

活動内容	実績数	目標数
(1) 住民参加の促進及び生活支援ニーズの把握	25	24
(2) 地区における自主活動の育成及び支援、並びに担い手育成	52	48
(3) 関係機関とのネットワーク	44	40
(4) 関係者とのネットワーク	39	36
(5) 前年度モデル地区への支援	31	28
(6) 第2層協議体設置への取り組み・地域活動支援	29	28
(7) 業務日誌の作成及び各項目における報告書の作成	56	36

(1) (2) (3) (6)

内海地域 平瀬地区

懇話会 7回/全戸訪問ニーズ調査 実施（第2層コーディネーター2名参加）

介護予防教室 2回開催地域の高齢者の困りごとを調査し、区長、公民館主事、ふれあいサロン、民生委員、消防団と情報を共有しました。地域のことを住民と考え、各団体や役員が協力しておもちつき大会を開催し、お餅を丸める等高齢者も役割を持って参加し、おためしサロンのコーナーでは多世代が混ざり合って楽しむことが出来ました。

(1) (2) (3)

【新規モデル地区】

西海地域 内泊地区

懇話会 5回/独居高齢者ニーズ調査 実施

介護予防教室は3回開催。懇話会を開催し、コロナ禍でうみらいく愛南の愛大生の学生とのつながりが希薄になっていることを課題と捉え、学生と内泊住民とのつながりづくり、地域活性化を図り地域食堂を2回開催しました。学生と住民がつながる地域交流ができました。

(1) (2) (3) (5)

【前年度モデル地区への支援】

深浦地区	懇話会を継続的に開催し、住民主体で地域を活性化する支援が出来た。
下久家地区	ふれあいサロン「笑、笑」へ訪問し、関係づくりを行った。
福浦地域	小学校と連携した高齢者訪問、新たに地域交流として夕涼み会を開催し、多世代交流の支援を行った。
中泊地区	「中泊ふれあいサロン」へ訪問し、新たな民生委員と関係づくりを行った。
正木地区	やまびこキッチン、やまびこ会への訪問と支援を行いました。
馬瀬地区	防災学習会、ビアガーデンを開催し、住民全世帯を対象に地域活動する支援を行った。
栄町地区	夕涼み会、視察研修を開催し、住民同士のつながりづくりを行った。

【研修会】

7月7日（金）	28名参加	生活支援体制整備事業研修 「生活支援コーディネーターについて・地域活動の声」 講師；山梨県立大学 准教授 高木寛之 氏
---------	-------	---

(3) 関係機関とのネットワーク

- 地域包括支援センターとの打ち合わせ4回
- 愛南町生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体4回
- 地域ケア個別会議3回

(4) 関係者とのネットワーク

実績評価 ・問題点	<p style="color: red;">区長や地区役員、ふれあいサロンや民生委員、公民館主事等、各種団体等で懇話会を開催し、地域住民へ聞き取り調査を行い、ニーズ調査、支え合い活動等の自主活動へつなげる支援を行いました。地域食堂や地域イベントを開催し、地域で暮らす人同士の顔つなぎ活動を実施しました。</p> <p style="color: red;">また、協議体会議、介護予防教室、地域ケア会議等関係機関、関係団体等と連携し、情報の共有、課題の検討等を行いながら、各関係機関等とネットワークを作ることが出来ました。</p>
--------------	--

《 5 》食の自立支援事業（配食サービス事業）

収入額	549,240円	主な財源	町受託金
支出額	592,724円		

①事業の概要・・・一人暮らしの高齢者等で、食生活に支障のある方に対して、ボランティアの協力を得て昼食弁当の配食サービスをおこなうことにより、高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう支援し、併せて安否確認を行うものです。

月・火・木・金 の週4回（昼食分のみボランティアの協力により配食）  
 弁当は業者委託1食650円（利用者負担金 450円）

②事業の目標…令和6年度は城辺地区4名御荘1名です。今後も配食方法をボランティアさんと検討をしていきます。

年度別配食数

年度	単価	内海	御荘	城辺	一本松	西海	計
3年度	450	0	237	484	0	94	815
4年度	450	0	96	419	0	44	559
5年度	450	0	110	475	0	12	597

実績評価 ・問題点	利用者が年々減少しており、町と事業の検討をしていく必要があります。
--------------	-----------------------------------

《 6 》心配ごと相談事業

収入額	263,000円	主な財源	町受託金
支出額	262,310円		

[1] 無料法律相談事業（場所：御荘老人福祉センター）（町受託事業）

① 町の受託金を活用し、月に1回の法律相談（偶数月：司法書士、奇数月：弁護士）を開催し相談を受け、複雑な社会情勢や経済状況の中で、住民のあらゆる生活、福祉の問題について、適切な助言や法的な解決が必要な問題への対応を行いました。

② 司法書士相談実績（1回の開催につき5件対応）

開設日	年度	開催回数（回）	相談者数（名）	平均相談者数	相談員
4・6・8・10・12・2月 第3木曜日 14:00~16:00	3年度	6	20	3.3	司法書士 増本 園
	4年度	6	21	3.5	
	5年度	5	13	2.6	

③ 司法書士相談内容（件数）

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	連帯保証人 負債回収	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
3年度	0	4	1	4	5	3	1	1	1	20
4年度	1	3	0	2	3	2	2	5	3	21
5年度	1	1	0	0	1	7	2	0	1	13

④ 弁護士相談実績（1回の開催につき6件対応）

開設日	年度	開催回数（回）	相談者数（名）	平均相談者数	相談員
5・7・9・11・1・3月 第3火曜日 14:00～16:00	3年度	5	23	4.6	弁護士 大島 博雅
	4年度	6	33	5.5	
	5年度	6	31	5.2	

⑤ 弁護士相談内容（件数）

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	連帯保証人 負債回収	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
3年度	1	3	2	4	2	5	1	3	2	23
4年度	2	5	0	2	8	4	3	4	5	33
5年度	1	5	0	0	4	10	3	3	5	31

実績評価 ・問題点	町の広報誌・防災無線等で毎月周知し、総合相談窓口の機能として法的な専門分野の相談について司法書士や弁護士と連携しました。住民の困りごとや悩みごとの解決へつながっています。継続して実施していく必要があります。
--------------	---

《 7 》 共同募金配分事業

< 1 > 一般配分事業

収入額	3,698,254円	主な財源	共同募金配分金
支出額	3,696,747円		

主な配分事業

事業名	内容
1 老人福祉活動	
1 福祉杖支給事業	高齢者等への福祉杖の支給
2 ふれあいサロン事業	サロン団体へ助成・育成活動
2 障害者・児福祉活動	
1 町身障福祉協議会助成	団体への活動助成
2 障害者福祉講座事業	講座の開催
3 児童・青少年福祉活動	
1 夏休み体験学習	夏休み体験学習
2 福祉教育推進事業	小学生・中学生への福祉教育の実施
1 南予里親普及事業助成	活動助成
4 母子・父子福祉活動	
1 母子家庭小学校卒業児童激励事業	母子・父子家庭の児童に対して小学校卒業時に図書カードを贈呈
5 福祉育成・助成事業	
1 民協活動助成	民生児童委員協議会への活動助成
2 広報・啓発	社協だより・ホームページ
6 ボランティア活動育成事業	
1 町ボランティア活動助成	町内のボランティア団体への活動助成
2 小地域活性化事業	拠点づくり（ご縁茶屋）まちづくり座談会
7 共同募金運動推進事業	
1 募金運動資材の整備	啓発活動

< 2 > 特別配分事業

収入額	820,000円	主な財源	共同募金配分金
支出額	820,000円		

「地域から孤立をなくそう」特別事業 30万円  
地域での深刻な課題として進行している社会的孤立の解消や予防に関する取り組みとして福祉のまちづくり座談会や、サロン代表者会、地域の担い手研修会等、地域における支え手の育成に取り組みました。

「災害等準備金取り崩しによる地域福祉推進」特別事業 22万円  
災害ボランティアセンター運営のため、看板、テントを購入しました。

### < 3 > 共同募金運動啓発・推進

目標達成率	目標額	4,932,000円	実績額	4,860,153円	達成率	98.5%
-------	-----	------------	-----	------------	-----	-------

- ・戸別募金、職域募金、学校募金、大口募金
- ・ゆらり内海へガチャポン（缶バッジ）を設置。売上の全額を募金

実績評価 ・問題点	<p>一般配分事業・特別配分事業ともに、社協の地域福祉活動に活用し、地域や団体、住民の方への取り組みを行うことが出来ました。共同募金運動については昨年度実績を下回りましたが、戸別、職域、学校、大口などでご協力をいただき募金を集めることができました。今後も継続して共同募金の広報・周知を行うとともに、新しいお願い先などを開拓、店舗での募金箱の設置等にも取り組んでいきます。</p>
--------------	---

## 《 8 》 総合相談支援事業（くらしの相談室）

< 1 > 福祉サービス利用援助事業	収入額	898,300円	主な財源	県社協受託金、利用料
	支出額	979,141円		

利用状況

年度	利用者数	生活支援員数
R3年度	6名	4名
R4年度	9名	4名
R5年度	11名	4名

- ・主な支援内容 日常的な金銭管理

実績評価 ・問題点	<p>新規3名の契約、2名の方死亡、1名の方施設入所による契約終了がありました。利用者の生活状況に合わせ、関係機関と連携し、利用者が安心して生活できるように支援しました。生活支援員は現在のところ不足はしていませんが、ケアマネジャーからの相談も増えており、新規契約の増加に伴い支援員の確保や連携に努めていきます。利用者の生活課題は複雑化しており、経済虐待など困難事例もあり、十分なアセスメント、行政等関係機関との密な連携が必要です。</p>
--------------	---

< 2 > 生活福祉資金貸付事業	収入額	7,739,374円	主な財源	県社協受託金
	支出額	7,740,735円		

#### ① 令和5年度貸付件数

資金種類	福祉資金	緊急小口資金	教育支援資金	総合支援資金	不動産型担保資金	計
相談件数（重複）	16	110	3	7	1	137
貸付件数	3	21	0	1	0	25
貸付金額	887,000	861,000	0	380,000	0	2,128,000

実績評価 ・問題点	<p>資金の貸付により、一時的な困りごとや自立更生のため支援することができました。また、生活保護の申請による生活費のつなぎ資金の貸付により、困窮している方の生活を支えることができました。課題として、貸付後の世帯や滞納世帯に対しての状況把握や償還状況の確認を行いました。相談時から、役場、困窮担当者等と情報共有し、連携して相談を行っていきます。</p>
--------------	---

### < 3 > コロナウイルス特例貸付 生活困窮者支援体制強化事業

- (1) 特例貸付の借受世帯等への相談支援  
生活困窮者自立支援事業や行政と連携して生活困窮者等への食糧支援や本則貸付相談を行った。
- (2) 特例貸付の借受世帯等への情報提供  
生活困窮者等の相談窓口の情報をホームページや機関誌へ掲載し、広報、情報発信を行った。
- (3) 生活困窮課題の実態把握  
①特例貸付世帯へのアンケートの実施 125世帯へ送付、うち30世帯返信・9世帯宛名不明  
(アンケート・くらしの相談窓口のチラシ配布・フードパントリーチラシ配布)  
※返信のあった2世帯について生活福祉資金貸付を行った。  
※フードパントリーへの参加につながった。  
②引きこもり・生活困窮世帯の実態調査  
民生委員88名に調査 引きこもり把握者27名・気になる世帯54世帯
- (4) 他機関・地域と協働した生活困窮課題への対応  
①生活困窮者等情報共有会議の開催 年12回  
②フードパントリーの開催 年12回 (延べ参加者171名)

実績評価 ・問題点	愛媛県社会福祉協議会から助成を受けて、特例貸付の生活困窮者支援体制強化を行いました。償還が始まっていますが、生活再建が困難な方が多く、償還免除・猶予等の手続き支援や相談・支援体制等の充実が必要になっています。随時、対象者の方への連絡、面談、生活状況の確認等を行っていきます。
--------------	---

### < 4 > 生活困窮者自立相談支援事業

収入額	4,500,000円	主な財源	県受託金
支出額	4,501,000円		

#### 相談実績

	相談件数 (新規)	対象者数	プラン (再) 件数	備考
R3	68件	1名	3件	コロナ特例貸付の相談含む
R4	50件	1名	3件	コロナ特例貸付の相談含む
R5	26件	5名	10件	

実績評価 ・問題点	保健福祉課、地域包括支援センター、ケースワーカー等、各関係機関と連携して、生活困窮者の相談支援を行うことができました。また、支援調整会議を開催し、役場内の福祉以外の分野とも情報を共有し支援することができました。 令和5年度はコロナ特例貸付の利用者へアンケートを実施し、利用者の現状把握することができたので、継続した生活困窮者の相談支援を行う必要があります。今後も重層的支援体制整備事業の相談窓口と連携し包括的な相談支援に取り組んでいきます。
--------------	---

### < 5 > 家計改善支援事業

収入額	2,131,000円	主な財源	県受託金
支出額	2,131,001円		

#### 支援実績

	相談件数	対象者数	プラン (再) 件数	備考
R3	0件	1件	1件	
R4	1件	2件	2件	
R5	1件	2件	2件	終結1件

実績評価 ・問題点	自立相談支援事業と連携して支援を行っていますが、利用者が少ない状況にあります。相談者と一緒に家計の「見える化」を図り、家計改善に向けてアドバイスをしました。利用者が自分で家計を管理しようと意欲的になり、少しずつ貯蓄をするようになってきたことや買い物支援同行などのプラン作成をすることができました。フードパントリーや自立相談、総合相談窓口などの周知も行うことができました。
--------------	---



< 6 > 生活困窮者・被保護者就労準備支援事業

収入額	4,860,000円	主な財源	県受託金
支出額	4,862,276円		

支援実績

	相談件数	対象者数	プラン（再）件数	備考
R3	3件	3名	2件	被保護者2名
R4	4件	5名	5件	被保護者4名
R5	3件	5名	8件	被保護者3名

実績評価 ・問題点	<p>利用者5名。利用者支援プログラムを作成し、生活保護就労支援員や地域の方々の協力を得て、支援を行ないました。利用者1名は就職に結びつき、自立した生活に向けて就労を開始しました。1名は心身の状態不安定なため支援を休止しています。他3名は被保護者で、うち2名は、関係機関と連携しながら保護から脱却し自立した生活に向けた支援を継続しています。1名は関係機関と連携していますが債務等の手続きのため一旦休止となっています。</p> <p>自立相談支援、家計改善と連携しながら、事業の周知に努め、利用者の掘り起こしや、職場体験等の協力事業所の開拓などを行っていきます。</p>
--------------	--

< 7 > 法人後見事業

収入額	1,114,000円	主な財源	事業報酬
支出額	359,931円		

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な支援内容
後見	3名	3名	3名	財産管理・身上監護
保佐	3名	3名	3名	財産管理・身上監護（代理権付与）
補助	1名	1名	1名	財産管理・身上監護（代理権付与）

実績評価 ・問題点	<p>新規受任なし。1名死亡。コロナウイルスによる感染防止のため、施設での面会に制限がありました。施設と密に情報共有し、ガラス越しの面会を行うなど本人の生活状況を確認しました。利用者の入所、家族の死亡時には、親族や病院、施設等関係者と連絡を密にして支援することができました。入院時、死亡時の対応について、親族の状況、支援等が不明なケースがあり、確認を強化する必要があります。</p>
--------------	---

## < 8 > 重層的支援体制構築準備事業

収入額	18,798,850円	主な財源	町受託金
支出額	18,450,380円		

### 【相談支援事業】

支援実績

	対象者数	対応件数	備考
R3	36名	93件	
R4	22名	50件	
R5	47名	88件	

実績評価  
・問題点

重層的支援体制構築準備事業は3年目を迎え最後の準備期間の年でした。包括化推進員として前年度に引き続き、役場保健福祉課内に福祉総合相談窓口として配置し、高齢者・障がい者・子育て・生活困窮などの属性を問わない相談支援に努めてきました。また、保健福祉課以外の役場の各課・部署と連携するため役場の各課・部署へ重層的支援体制整備事業の概要説明を行い、庁舎内・支所・公民館等の職員に、協力員として常駐していただきました。また、講師の高木先生のご協力をいただき協力員への研修会を行っています。

多機関協働事業として複雑化・複合化した対象者については多機関協働事業者が包括的支援会議を開催し、関係各機関で情報共有し支援を進めてきましたが、支援方針を作成する包括的支援会議は今のところ開催できておりません。

### 【地域づくり事業】

#### ①世代や属性を超えて交流できる居場所の整備

##### ●懇話会

福浦地域 5回／柏地域 5回／長月地域 2回／深浦地域 5回／栄町地域 1回

増田地域 1回／内泊地域 5回／平落地域 5回 合計 29回

##### ●地域食堂

柏地域 2回／深浦地域 1回／内泊地域 2回 合計 5回

##### ●夕涼み会

栄町地域 1回／深浦地域 1回／福浦地域 1回／馬瀬地域 1回 合計 4回

##### ●地域交流会

長月地域 1回

##### ●学校・地域共同による独居訪問

福浦地域（福浦小学校）

##### ●福祉のまちづくり座談会

旧町村別各 1回

##### ●地域の担い手養成講座

年 3回

##### ●中学生ボランティア養成講座

年 3回

##### ●高校生ボランティア養成講座

年 1回

##### ●小地域福祉活動団体の育成・支援

柏地域：柏遊会／栄町地域：さかえ／深浦地域：深浦ふれあい会

##### ●愛南町地域福祉活動実践フォーラム

## ②おかえり子どもクラブの開設

保育士OBを支援員として迎え、児童が安心して過ごせる体制づくりを行いました。利用者は、年度開始時、12名の利用でしたが、2名退会し、10名となっています。延べ利用人数は、1,156人となっています。今後も児童が安心して過ごせる「居場所」づくりに取り組めます。

### 【利用実績】

月	利用者数	開催日数	利用延べ人数	備考
4	12	11	106	
5	12	15	146	
6	12	17	141	
7	12	9	79	
8				夏休み
9	10	16	103	
10	10	15	102	
11	10	15	95	
12	10	12	84	
1	10	13	99	
2	10	14	112	
3	10	11	89	
合計		148	1,156	

## ③フードパントリー・フードパントリー弁当の開催

月に1回 第2水曜日、午前、午後、公民館（20の公民館を順番に回る）でフードパントリー（食の配布）を実施しました。  
また、月に1回、第4水曜日、ご縁茶屋でフードパントリー弁当を販売し、フードバンクを活用し食を必要としている方への支援を行っています。  
フードパントリーでは、食を配布するだけでなく、訪れた方が気軽に相談できる環境づくり、信頼関係の構築に勤め、相談者の早期発見につながっています。

### 【フードパントリー】

月	場所	参加人数	場所	参加人数
4月12日	御荘文化センター	11人		
5月10日	DEあい21	1人	菊川公民館	12人
6月14日	上大道公民館	3人	緑公民館	12人
7月12日	西海公民館	0人	長月公民館	10人
8月9日	御荘文化センター	7人	城辺保健センター	2人
9月13日	深浦公民館	6人	家串公民館	12人
10月11日	正木公民館	4人	平城公民館	12人
11月8日	中泊公民館	6人	久良公民館	13人
12月13日	魚神山公民館	0人	中浦公民館	11人
1月10日	一本松公民館	6人	東海公民館	6人
2月14日	城辺公民館	18人	福浦公民館	5人
3月13日	僧都・山出公民館	4人	赤水公民館	10人

### 【フードパントリー利用者の相談内容】

お金に困っている
人間関係に悩んでいる
家族のことについて
健康状態について

### 【フードパントリー利用者の相談支援】

重層的支援会議に移行	1名
生活困窮（自立）	1名
生活困窮（就労準備事業）	1名
生活困窮（家計支援事業）	1名

※生活困窮者就労準備事業の相談者にフードパントリー運営をお手伝いいただいたことが、社会とのつながりや就労体験となり、一般就労につながっています。

### 【フードパントリー弁当】

日時	場所	個数
4月27日	ご縁茶屋	168食
5月24日	ご縁茶屋	198食
6月28日	ご縁茶屋	222食
7月26日	ご縁茶屋	216食
8月23日	ご縁茶屋	102食
9月27日	ご縁茶屋	204食
10月25日	ご縁茶屋	237食
11月22日	ご縁茶屋	310食
1月25日	ご縁茶屋	248食
2月28日	ご縁茶屋	300食
3月27日	ご縁茶屋	305食

#### ○購入対象者

サロン、民生委員、相談者、事業所（企業）、個人ボランティア等

#### ○効果

- ・フードパントリー弁当を購入することで、多くの食品が取れ、栄養が多く取れ、安価で購入することができる。
- ・民生委員やサロンがフードパントリー弁当の趣旨を理解し、地域の独居の方や心配な方へ声掛けし、注文をとりまとめ、配達をしてくれている。
- ・事業所（企業）が地域活動に関心を持ち食品の提供をしていただく活動が広がっている。
- ・生活困窮者や相談者がフードパントリー弁当を作る手伝いや受付をするなど、「参加支援」の機会となっている。
- ・机で面と向かって相談を受けるより、作業をしながら話をすることでその人の得意なことや興味のあることを知ることができる。悩み事を聞くことができるなど寄り添った支援ができる。

#### ⑤関係機関との連携強化

重層的に係る研修会への参加、先進地の取組を学ぶことができました。また、地域の方との打ち合わせ会や会議では、地域の現状や課題の把握、今後の取り組みについて情報共有ができました。

実績評価 ・問題点	<p>社協が地域に出向き、懇話会を開催することで、地域の資源や魅力、課題等を地域住民と共有できました。地域にあったらよいことについても話合うことができ、住民主体の活動(地域食堂、夕涼み会、防災学習等)が生まれました。</p> <p>福祉のまちづくり座談会では、若い世代(中学生)が考える地域福祉活動計画について住民と一緒に考える機会を持つことができました。</p> <p>また、そこから地域活動につながり、団体と団体、人と人がつながり、新たな地域の活動の場が生まれました。</p>
--------------	--

### 《 9 》まごころ銀行運営事業

収入額	120,998円	主な財源	寄附金・受取利息
支出額	20,000円		

①事業の概要・・・個人、団体の皆様より、いただいた寄附金品を預託して、地域福祉活動、災害見舞等の財源として役立てます。

②事業の目標…まごころ銀行規程に遵守した寄附金の活用をしていきます。寄付をしていただいた方の気持ちを大切に、継続して寄附をしていただけるよう、感謝の気持ちを示していきます。災害に備えて、災害緊急時のための積立金の確保を検討していきます。

#### 寄附金の受入

No.	氏名・団体名	金額(円)	目的・使途
1	西崎 文恵 様	10,000円	地域福祉
2	有限会社 のだ保険事務所 様	100,000円	地域福祉
3	株式会社エースワン 様	10,960円	地域福祉
合 計		120,960円	

災害見舞金	1件(全焼1件)	20,000円
-------	----------	---------

実績評価 ・問題点	地域のために役立ててほしいとのあたたかい寄付がありました。
--------------	-------------------------------

### 《 10 》各種団体事務の協力、援助

	団体名	
①	民生児童委員協議会 本部・各支部	計6団体
②	愛媛県共同募金会愛南町支会	
③	愛南町戦没者遺族会 本部・各支部	計6団体
④	老人クラブ各支部	計5団体
⑤	愛南町軍人恩給連盟	

## 《 1 1 》居宅介護等事業

### ＜1＞訪問介護事業・第1号訪問事業

収入額	55,326,515円	主な財源	介護報酬、利用者負担金
支出額	54,637,016円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	54,537,244	51,873,830	55,326,515
訪問延べ回数	17,828	16,510	18,218
職員数	21	20	20

\*4年度はコロナ検査費用補助金を含む

\*同職員が訪問介護と障害福祉サービスを実施

(1)事業の概要…自立支援の視点と介護の専門技術を持った訪問介護員が自宅に訪問し、身体介護・生活援助・通院の介助等の介護サービスを行っています。介護予防・日常生活支援総合事業における身体介護・生活援助等のサービスを行っています。

(2)支援方針…遠隔地在住のパート職員や出張所活用により、愛南町の隅々まで希望に合わせてできる限り訪問対応を行います。介護計画書に沿った個別援助計画に基づき、利用者の状態の変化に留意し、職員間でその情報をきちんと伝達しあって、適切な介護を行います。

(3)特徴…新型コロナウイルス感染予防の対策は引き続き利用者・ご家族だけでなく、職員やその関係者の行動把握をし、それぞれの状況に適切な対応を行っています。また、BCPの取り組み強化として、地震等の災害時には利用者にも電話や訪問での安否確認を行い、滞りなく安心したサービスが提供できるようにしています。

#### 実績評価 ・問題点

事業所内でグループラインやメール等を活用し、職員間における正確な情報の共有や連携を図ることができました。日頃の連絡網の活用から災害訓練時には早い安否確認が取れる体制になっています。  
 新型コロナウイルス感染症が5類となっても、予防対策は継続し感染拡大防止に努めつつ、サービスを実施することができました。  
 様々なケースに対応できるように、愛南町内の訪問介護事業所連絡会への参加や定期的な研修、事例検討等を実施し、質の向上に努めました。  
 ヘルパーの高齢化・人材確保の課題はありますが、5年度は増減なく20名で継続できました。また、介護福祉士を新たに2名が取得し、計17名が取得者となりました。

### ＜2＞障害福祉サービス事業 ※居宅介護(障害支援区分1以上)

収入額	7,348,058円	主な財源	介護給付費、利用者負担金
支出額	7,157,616円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	12,642,900	10,891,020	7,348,058
訪問延べ回数	291	250	204
職員数	21	20	20

#### (①居宅介護②重度訪問介護③同行援護)

①②③とも、障害者総合支援法に基づき実施。

#### (1)事業概要

・居宅介護…愛南町が決定した障害支援区分1以上の障害者（児）に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事などの介護や、生活などに関する相談及び助言、その他生活全般にわたる介助を行います。

・重度訪問介護…重度の障害があり、常時介護を要する障害者（児）に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事などの介護や、生活全般にわたる介助、外出時における移動中の介助を行います。

・同行援護…視覚障害により、移動介助が必要な障害者（児）に対して、ガイドヘルパーが外出時の移動に必要な情報の提供（代筆・代読含む）、移動・排泄及び食事の介護、その他外出に必要な介助を行います。

(2)支援方針…利用者が希望する暮らしが続けられるよう、病気や障害状態を理解して、個々の状態や生活及び介護環境に合わせたサービスの提供を行います。

(3)特徴…新型コロナウイルス感染予防の対策は引き続き利用者・ご家族だけでなく、職員やその関係者の行動把握をし、それぞれの状況に適切な対応を行っています。また、BCPの取り組み強化として、地震等の災害時には利用者にも電話や訪問での安否確認を行い、滞りなく安心したサービスが提供できるようにしています。

実績評価 ・問題点	<p>病状悪化で、在宅生活の維持が困難となり施設入所された方が相次ぎました。新規依頼もなかったため大きく事業収入は落ち込みましたが、年度後半に同行援護・居宅介護など新規依頼がありました。ガイドヘルパーの資格取得者も増えたので、同行援護利用者へ散歩介助などのサービスも提案し、対応しています。病院受診以外の外出機会がなかった利用者が、『散歩で定期的に外出でき、下肢筋力の維持と気分転換ができる』と喜んでおられます。新規依頼の予測は立ちにくいのですが、新たな相談支援事業所との連携も取り、障がい者児の方々への幅広い支援ができるよう働きかけをしています。</p>
--------------	--

<3> 地域生活支援事業（愛南町が独自で行っている事業）

収入額	657,900円	主な財源	町受託金
支出額	386,075円		

年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	1,100,000	562,500	657,900
訪問延べ回数	88	45	53
職員数	居宅介護（障害福祉サービス）訪問入浴職員数と同数		

① 訪問入浴事業      ② 障害者（児）移動支援事業

(1) 事業の概要

- ① 愛南町の許可を受けた介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々のお宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して入浴介助を行います。愛南町の許可を受けた介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々のお宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して入浴介助を行います。
- ② 愛南町の許可を受けた外出時に移動が困難な障害者（児）にガイドヘルパーが、外出の移動支援を行います。

(2) 支援方針

- ① 介護保険利用と併用して利用できるもので、両面から入浴支援を行います。
- ② 利用者が安心して外出できるよう、安全な移動支援の提供と利用者を取り巻く周辺状況に気づきを持った支援を行えることを目指します。

(3) 特徴

- ① 看護師1名介護職員2名の3名のスタッフで入浴介助を行います。主治医の入浴許可のもと実施します。昼2畳の広さがあれば自室で入浴可能です。
- ② 愛南町が行う障害者（児）の旅行の移動支援も行っています。

実績評価 ・問題点	<p>① 介護保険と併用利用される方は冬場体調を崩されお休みされることが多く、実績につながりにくい状況でした。今後も介護保険と併用利用の方については、介護保険優先となるため、収入増にはつながりにくいと思われます。障害サービスの方の入浴対象の方の利用は定期的であり、大変喜んでいただいています。利用者ご本人から心こもった年賀状もいただき、職員一同の励みになっています。無資格者のスタッフも、2名認知症介護基礎研修を受講し、認知症への対応力が向上しています。</p> <p>② 近年コロナ禍で障害者旅行等が中止となり、サービス利用がありませんでしたが、今年度は『えひめ障害学習夢まつり』に参加される方の日帰り旅行の移動支援を新規依頼で対応しました。利用者にとって、初めての遠出にも事前準備をし、顔なじみのヘルパーが同行することで体調不良なく、安全に外出していただきました。出演演目も無事終えて、大変喜んでいただきました。今後も、活動的な生活が送れるよう、練習参加への介助等も提案しています。</p> <p>①②共に、利用者数が少ないのが課題です。障害者・児の方々への成長に併せて、介護者の加齢等による介護負担は大きくなっていると思います。少しでも多くの方々に障がいサービスをご利用いただき、ご自宅で家族と共に安心して過ごしていただくために、今後も愛南町担当課との連携をまいります。</p>
--------------	--

《 1 2 》 居宅介護支援事業（予防プランのみ愛南町受託）

居宅介護支援事業（①要介護対象サービス②総合事業・予防給付対象サービス）

① 要介護対象サービス	収入額	23,565,650円	主な財源	介護給付費
	支出額	20,708,512円		

② 総合事業 予防給付 対象サービス	収入額	1,164,180円	主な財源	実績に応じた受託金
	支出額	978,074円		

年度別実績

項目		3年度	4年度	5年度	
事業収入	①要介護対象	25,001,610	25,755,120	23,565,650	*4年度はコロナ検査費用補助金を含む
	②総合事業・予防	1,176,180	1,236,600	1,164,180	
利用者実人数	①要介護対象	1,546	1,500	1,439	
	②総合事業・予防	261	270	261	
職員数		5	5	5	

(1) 事業の概要

① 保険・医療・福祉などに関する知識を持った介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険を利用する介護が必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家庭の状況を考慮して、適切なサービスが利用できるように支援します。本人とサービス事業者・その他関係者のパイプ役となり、連絡・調整や介護に関する様々な相談に応じます。

② 愛南町介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託契約に基づいて、要支援認定を受けた方に対して、心身の状態や家庭の状況などを聞き取り利用者本人が望む生活を確認し、介護予防サービス計画やサービス提供表の作成、会議を行い、サービス利用による効果と課題を分析しながら利用者自身が自立した在宅生活の継続ができるよう町包括支援センターと連携し、充実した支援を行います。

(2) 支援方針

①② 外部研修の参加や事業所内外の事例検討会を重ね介護保険制度に沿った充実した対応ができるようにします。様々な事例に対する課題解決能力の向上を目指します。

(3) 特徴

①② 24時間連絡体制を整備し、主任介護支援専門員を配置しています。介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れを行っています。医療と介護の連携を強化し、適切なケアマネジメントの実施やケアマネジメントの質の向上に努め、研修等へ積極的に参加しています。

実績評価  
・問題点

事業所内及び、他の居宅介護支援事業所との事例検討会や他機関開催の研修へ積極的に参加し、適切なマネジメントが行えるよう、職員のスキルアップに努めました。町内外の医療機関等のカンファレンスにも出席し、医療連携の充実を図り、利用者の病状管理や健康管理、それに伴う介護者の負担軽減を考慮したケアプラン作成に努めました。  
災害時、安否確認が正確かつ早急に行えるように、災害発生を想定した安否確認の連絡訓練や避難訓練を行いました。  
愛南町内での介護支援専門員の養成につながるよう、介護支援専門員実務研修実習生を1名受け入れしています。  
利用者数と支援状況を確認し、職員間の利用者数バランスを取りつつ、新規依頼に全て対応しましたが、月々の新規依頼者数に波があることが課題です。今後も、同様に新規依頼には出来る限り対応し、安定した利用者数の確保に努めます。



### 《 1 3 》訪問入浴（予防）事業

収入額	13,583,550円	主な財源	介護報酬、利用者負担金
支出額	13,324,275円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	15,051,761	15,626,220	13,583,550
訪問延べ回数	1,054	1,143	1,031
職員数	13	13	13

\*4年度はコロナ検査費用補助金を含む

(1) 事業の概要…介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。ボイラー搭載車に、組み立て式の浴槽を積み込み、スタッフ3名1チーム（看護師1名、介護職員2名）で訪問します。

(2) 支援方針…自宅でプライバシーを守りながら、ゆったりと入浴をしていただけるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛け、身体の保清と爽快感が実感できるようにサービスを行います。また、看護、介護資格を持たない職員の研修参加の機会を持ち、認知症対応力の向上を目指します。

(3) 特 徴…自宅のお部屋に約畳2畳のスペースがあれば入浴可能です。主治医の許可を得て入浴を行うようになります

#### 実績評価 ・問題点

4年度はコロナ禍で施設利用に制限があり、在宅での入浴サービスの必要性が高まり実績が伸びましたが、5年度は長引くコロナ禍での介護負担の軽減を図るためにショート利用などの施設利用が増え、入浴サービスが減り収益減となっています。寝たきりや終末期の方々のご利用が多い事業ですので、利用者数が急激に伸びる見込みは有りません。が、愛南町では1事業所しかなく、事業を中止した場合は、他町の訪問入浴事業所の利用をしていただくこととなります。入浴できるチャンスが1度しかない方や、医療上早急な入浴が必要で、希望されている方々への対応を求められていることを鑑みると、利用頻度が少ないというだけでは事業中止への判断が下しにくい状況です。人生最後となるかもしれない入浴に、利用者、家族共に喜んでいただき、職員もできる限り希望に沿い、安心して入浴していただけるために3名のチームワークを生かし、心を込めて対応しております。これからも、介護保険対象者だけでなく、障害者（児）の方々等、幅広くご利用いただけるよう周知に努めます。

### 《 1 4 》通所介護事業

収入額	34,887,101円	主な財源	介護報酬、利用者負担金
支出額	32,395,466円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	38,229,480	37,308,788	34,887,101
利用延べ回数	4,528	4,252	4,106
職員数	13	13	15

\*4年度はコロナ検査費用補助金を含む

(1) 事業の概要…愛南町内に住み、要介護・要支援の認定を受けた方が対象です。利用にあたり、送迎車で自宅とデイサービス施設の送迎を行います。デイサービス施設において、入浴・食事・排泄などの介助を行い、地域の方々との交流やレクリエーション・体操 などを通して、社会的孤立の解消や、心身の機能が向上するよう支援します。

(2) 支援方針…全職員で新型コロナ対策を継続し、利用者の方々に楽しんでいただきながら機能維持が図れるよう事業を行います。通所で提供した個別の運動マニュアルをお渡しし、自宅でも取り組んでいただきながら、利用者が小さな成功体験を重ねてもらうことで、自分でできることを増やしていけるよう支援します。また、看護、介護資格を持たない職員も有資格職員と共に、研修参加し、認知症対応力の向上を目指します。

(3) 特 徴…地域密着型通所介護（利用定員18名/1日）運営推進委員会を年間2回以上開催し、地域の方々に通所介護の活動について理解していただき、貴重なご意見や活動への協力をしていただく機会を持っています。新型コロナ対策として、デイ利用が不可能な利用者へ自宅訪問し、入浴介助や機能訓練指導などを必要に応じて実施しています。（対象者限定）事業所施設内の畑で利用者のアドバイスをを受けながら作った野菜を使い、地元職員が食べなれた味で調理し、出来立ての食事を提供しています。送迎時に利用をしたがらず、家族が困った場合には再度訪問し、利用者の対応を行い、利用をしていただけるよう関わります。

実績評価 ・問題点	<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行となりましたが、感染症対策を継続することで蔓延防止に努めることができました。遠方のご家族の帰省情報等を早めに把握することで、急な感染情報に早期対応ができ、二次感染や蔓延防止に効果がありました。</p> <p>施設入所される方が増加し、利用者減となってしまいましたが、少しずつ新規利用の問い合わせをいただいています。介護ソフトを活用し、タブレットによる利用者のバイタル記録と管理や連絡帳の作成を効率よく行うことができました。</p> <p>住み慣れた自宅での生活が継続するよう、それぞれの利用者の生活に活かせる個別体操も検討し機能維持を図りました。感染予防のために、地域交流が十分できませんでしたが、運営推進会議を再開し、地域の委員の方々に通所事業への理解を深めていただけるよう事業内容や状況報告などを行っています。</p> <p>また、地震などの災害時に落ち着いて行動できるよう、定期的に、西海高齢者生活福祉センターと合同訓練や、通所介護事業所独自の訓練、備蓄品の整備に努めました。</p>
--------------	--

## 《 1 5 》 障害者相談支援事業

### < 1 > 特定相談支援事業(計画相談)

収入額	1, 221, 490円	主な財源	計画相談支援給付費
支出額	1, 681, 687円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	1, 186, 190	1, 457, 200	1, 221, 490
利用者実人数	71	77	77
職員数	1	1	2

\*4年度はコロナ検査費用補助金を含む

\*計画相談と一般相談は同職員

(1) 事業の概要…障害者（児）の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて支援します。愛南町よりサービスが必要と認められた方（受給者証発行）にサービス等利用計画の作成や見直し（モニタリング）を行います。

(2) 支援方針…町内保健福祉課や地方局地域福祉課、作業所などのサービス事業所と協力し合って利用者が、地域で自分らしく暮らしていけるための適切なサービスが提供できるよう計画書を作成します。

(3) 特 徴…相談専門員研修修了者の相談支援専門員が担当し、障害福祉サービスに関わる制度や愛南町や近隣の地域資源を活用した支援を行います。

実績評価 ・問題点	<p>利用者の方々が希望する暮らしが継続し、自立した生活が送れるよう、定期的に心身や生活状況の確認(モニタリング)を行い、必要なサービス支援計画を作成しました。また、モニタリングにより、早急に状況変化を把握をし、サービス事業所や、医療・行政等の関係者と連携し、利用者の意向に沿った計画内容の変更を行いました。</p>
--------------	--

### < 2 > 一般相談支援事業(町受託事業)

収入額	4, 001, 000円	主な財源	受託金
支出額	3, 988, 790円		

#### 年度別実績

項目	3年度	4年度	5年度
事業収入	4, 000, 000	4, 001, 000	4, 001, 000
相談延べ件数	774	742	475
職員数	1	1	2

(1) 事業の概要…障害者（児）とその家族の抱える様々な問題について相談に応じます。相談内容に合わせて情報の提供、専門機関の紹介、障害福祉サービスの利用につなげる支援を行います。

(2) 支援方針…日々の事業活動の中で、町や地方局、事業所だけでなく、医療関係者や福祉関係者の方々など幅広い人々と連絡を取り合い、相談内容に応じて、適切な関係機関につなげます。

(3) 特 徴…特定相談事業所の職員が業務担当し、相談内容に合わせて、障害・介護保険・行政等の制度や専門職・地域資源と繋がり相談者の様々な問題が解決するよう支援を行っています。

実績評価 ・問題点	<p>利用者と家族の抱える様々な困りごとの相談に応じました。相談者は特定相談の利用者が相談件数の9割を占めています。特定相談で位置付けたサービス計画に加えた生活全般に関する相談となるため、その相談内容に応じ、利用者の理解と了解を得ながら自宅訪問をしたり、医療(主治医、医療ソーシャルワーカー、訪問看護等)、保健師、行政、サービス事業所などと情報を共有し、チームとして対応しました。</p> <p>特定相談の利用者以外の場合も、相談内容に合わせ必要な機関へつなぎ、問題解決への支援を行いました。</p> <p>ただし、相談者の多くは、地域とのつながりを希望されない方や、もともと地域とのつながりを持たない方が多く、支援がどうしても専門職に偏りがちになったことが課題となっています。</p>
--------------	---

《 1 6 》 「愛南町西海高齢者生活福祉センター」運営事業（町受託事業）

収入額	11,573,000円	主な財源	町受託金
支出額	11,415,277円		

(1) 事業の概要…愛南町と受託契約のもと、センター施設内において、高齢者を対象とした地域密着型通所介護事業の実施と、入居されている高齢者の方々への食事の提供をいたします。

(2) 支援方針…町担当者と介護関係者等と連携を図りつつ、生活機能維持を図ることを目的とした通所介護の実施と、入居されている高齢者に、食べなれた味と栄養バランスを考慮した食事を滞りなく提供します。

(3) 特徴…同施設内で行う通所介護の事業や行事、避難訓練などに多くの方々に参加していただき、施設入居者の方々と、地域を結ぶ役割として通所介護事業を行っています。地域食材をメインに使い、愛南町の食べなれたメニューを提供します。

実績評価 ・問題点	<p>通所介護事業については、通常どおりセンター内で事業が行えました。センター入居者でサービス利用をされている方が数名おられ、通所を通して同級生や友人に会う機会が持っています。</p> <p>食事提供については、地元業者から旬の魚や食材を仕入れ、食べなれた味と昔ながらのメニューで食事を提供しました。懐かしいメニューで、時季ごとに昔を思い出し、会話が盛り上がるなどコミュニケーションのきっかけにもなりました。</p> <p>5年度は調理員の不足が大きな課題となっております。4名体制から2名体制となったため、シフト面では厳しい状況となっております。早急な補充を行うため、人員募集をしております。</p> <p>災害時にも入居者の皆様への食事提供が行えるよう、備蓄品などの整備をしました。</p>
--------------	---